

令和6年度 経営発達支援事業及び事業継続力強化支援事業 評価委員会

議 事 録

1. 開催日時 令和7年3月25日（火） 14:45～15:32

2. 開催場所 東様似生活館 大ホール

3. 出席者

(1) 外部有識者 様似町 商工観光課 係長（板谷課長代理） 上田 佳輝 様
日高信用金庫様似支店 支店長 楫川 正浩 様

(2) 内部委員 様似町商工会 会長 工藤 仁
様似町商工会 副会長 早坂 拓三
様似町商工会 副会長 中村 康則
様似町商工会 商業・サービス部会長 米田 靖
様似町商工会 工業部会長 高木 茂一

(3) 事務局 様似町商工会 事務局長 石井 俊英
様似町商工会 経営指導員 河合 尚任

4. 内 容

定刻となり、事務局が開会を宣し、工藤会長が開会挨拶を行った後、事務局より本日の出席者及び有識者の欠席等理由について説明して議事に入る。

① 経営発達支援事業に関する目標と実績、評価見直しについて

(1) 経営発達支援計画について

事務局は、経営発達支援事業とは小規模事業者の支援に関する法律に基づき、小規模事業者の事業の持続的発展を支援する体制を整備するため、市町村と共同で作成する「経営発達支援計画」に基づく事業であることを改めて説明した。

様似町商工会は、令和4年3月18日（第9回認定）の「経営発達支援計画（第2期）」の認定を受け、令和4年度～令和8年度まで5年の期間で、新たな計画に基づく支援事業がスタートし 昨年の評価委員会の時にお配りしました経営発達支援計画に基づき、地域の経済動向、需要動向調査を実施して、事業者の経営状況を分析・事業計画策定して、商談会・展示会への出展やITを活用して新たな需要開拓に寄与する事業を実施するために支援するということになっている旨を説明。

参考資料として、本年度実施した「専門家による支援」「各種補助金の申請支援」を一覧にまとめたものを添付してあることを説明し、前年の評価委員会で指摘を受けた事業継続力強化支援事業も併せて評価いただく旨を説明した。

(2) 令和6年度 経営発達支援事業の報告

事務局は毎年度、認定計画の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明し、資料の確認をした後、評価シートに基づき計画と実績について説明した。

令和6年度における、経営発達支援事業を実施した内容は以下のとおり。

I、経営発達支援事業の内容

3. 地域の経済動向調査に関すること

取組内容1：地域の経済動向調査の公表回数

目標：2回 実績：1回 評価：C

検証結果 小規模事業者の経営状況を把握するため財務情報等を収集し、経営分析・事業計画策定の資料として活用しました。

特定の個社に情報収集にとどまっているため、地域全体の経済動向調査の公表まで至らなかったことが課題。基礎資料として活用したことにより、自社の強みや弱みに気づきを与え事業計画を策定したことで、補助金の採択を受けることができた。今後は定期的な調査が可能となるよう業務を見直し、計画的に事業を進めます。

取組内容2：観光経済動向の公表回数

目標：1回 実績：0回 評価：D

検証結果 実施なし

特定の個社に情報収集にとどまっているため、全体への公表までに至らなかったことが課題。基礎資料として活用したことにより、観光客の入込数を考慮した事業計画を策定したことで、持続化補助金の採択を受けることができた。今後は地域の小規模事業者全体に対し公表できるよう資料を整えるなど計画的に事業を進めます。

4. 需要動向調査に関すること

取組内容1：地域内消費者ニーズ調査対象事業者数

目標：4件 実績：0件 評価：D

検証結果 実施なし

今年度も調査をしなかったため公表することができませんでした。

今後は定期的な調査が可能となるよう業務を見直し計画的に事業を進めます。

取組内容2：観光ニーズ調査対象事業者数

目標：1件 実績：0件 評価：D

検証結果 実施なし

今年度も調査をしなかったため公表することができませんでした。

今後は定期的な調査が可能となるよう業務を見直し計画的に事業を進めます。

取組内容3：商談会・物産展による需要動向調査対象事業者数

目標：1件 実績：3件 評価：A

検証結果：北の味覚、再発見！出展1者 なまらいいっしょ北海道フェア出展1者

丸井今井札幌店北の味覚めぐり出展1者の需要動向調査を行いました。

今年度は商談会・物産展へ出展する事業者を掘り起すことができ、商談会・物産展に出展の際にアンケート調査の実施ができました。

今後は更なる出展希望する事業者の掘り起しを行い、計画的に事業を進めるとともに出展に向けて支援します。

5. 経営状況の分析に関すること

取組内容1：支援事業者の掘り起し

目標：6者 実績：10者 評価：A

検証結果：確定申告指導事業所のうち8者のほかに金融相談や事業承継相談の際に支援対象事業者を掘り起こし、補助金申請事業者1者と事業承継支援者1者の財務状況等について専門家による経営分析を実施しました。

経営分析を行なったことで、事業者の生産性や収益性を客観的に判断することができ、補助金申請や事業承継支援に活用できた。今後も分析結果を企業経営に活用いただくようフィードバックします。

取組内容2：専門家と連携した経営分析事業者数

目標：6者 実績：2者 評価：D

検証結果：補助金申請事業者1者と事業承継支援者1者の財務状況等について専門家による経営分析を実施しました。

小規模事業者持続化補助金申請事業者1者(第15回)が採択を受けました。

今後も補助金申請事業者が中心となるが、専門家と連携して経営分析を行い事業計画策定を支援します。

6. 事業計画策定支援に関すること

取組内容1：DX推進セミナー開催件数

目標：1回 実績：0回 評価：D

検証結果： 実施なし

今年度はDX推進セミナーを開催できませんでした。例年参加者が少ないた

め効果が少ないことから個別相談に注力したためセミナーを開催できず、今後はセミナーの参加勧奨やDX推進について、巡回訪問や窓口相談の際に丁寧に説明して実効性の高いセミナーを開催します。

取組内容2：事業計画策定セミナー開催件数

目標：1回 実績：6回 評価：A

検証結果：集団のセミナーではなく、専門家による個別相談により事業承継計画策定支援を6回行いました。

今年度も事業計画策定セミナーは実施しなかったが、セミナーよりも効果的な個別相談にシフトして事業計画策定を支援しました。今後も事業計画策定の必要性を丁寧に説明することで意識の醸成を図り、事業計画策定の支援をしなければなりません。

取組内容3：事業計画策定事業者数

目標：4者 実績：1者 評価：D

検証結果：小規模事業者持続化補助金申請事業者1者の事業計画策定を専門家と連携して行いました。

事業承継等に関する個別相談を「北海道商工会連合会」「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」「中小機構」「中小企業診断士協会」と連携して6回支援したうち、1者の事業計画策定を支援した。今後も事業計画策定は補助金申請事業者が中心となるが、専門家と連携して事業計画策定を支援します。

取組内容4：事業承継セミナー開催件数

目標：1回 実績：0回 評価：D

検証結果：セミナーの実施はしなかったが、北海道事業承継・引継ぎ支援センターや中小企業総合支援センター・北海道商工会連合会の専門家派遣事業を活用して個別相談会を開催しました。

セミナーよりも効果的な個別相談にシフトして事業承継計画の策定を支援しました。今後はセミナーを開催して事業計画策定の必要性を丁寧に説明するとともに内容を見直して定期的実施することで意識の醸成を図る支援しなければなりません

取組内容5：事業承継計画策定事業者数

目標：2者 実績：1者 評価：C

検証結果：巡回により掘り起こしができた事業者1者の事業承継計画策定に向けて支援しました。

事業承継を考えていなかった事業者が、巡回等をきっかけに専門家への相談を希望して事業承継に向けて検討を始める機会を提供できました。今後も専

門家（北海道事業承継・引継ぎ支援センター等）とともに支援を進めます。

取組内容6：事業承継・創業に関する個別相談会

目標：1回 実績：6回 評価：A

検証結果：北海道事業承継・引継ぎ支援センターや中小企業総合支援センター・北海道商工会連合会の専門家派遣事業を活用して個別相談会を開催しました。
専門家による個別相談により、後継者不在による悩みを解消して新たな方向性を検討する機会を提供できました。
今後も専門家（北海道事業承継・引継ぎ支援センター等）の相談案件として支援を継続します。

7. 事業計画策定後の実施支援に関すること

取組内容1：フォローアップ対象事業者数

目標：6者 実績：8者 評価：A

検証結果：小規模事業者持続化補助金採択者2者、事業承継相談4者、商談会・展示会出展者2者のフォローアップを行いました。
事業者との関わりが深くなり、事業者からの相談も増加しているを実感しています。次年度以降も同様に、実効性のある計画を推進するため、フォローアップに向けて巡回計画を立てた上で支援します。

取組内容2：フォローアップ頻度

目標：24回 実績：75回 評価：A

検証結果：小規模事業者持続化補助金2者、事業承継相談4者、商談会・展示会出展者2者のフォローアップを必要に応じて実施しました。
事業者との関わりが深くなり、事業者からの相談も増加しているを実感しています。次年度以降は計画を推進するため、巡回計画を立てた上で頻度を上げて支援していきます。

取組内容3：売上増加事業者数

目標：1者 実績：3者 評価：A

検証結果：持続化補助金活用事業者1者（飲食業）、商談会・物産展出展者2者の売上が増加しました。
補助金を活用して計画している中で、売上計画に基づき事業を実施した結果売上が増加したものと判断します。
商談会・物産展に出展し販路拡大に努めた結果として売上を確保され、新事業との相乗効果があったと見込みます。
今後も、売上増加に向けて販路開拓等の支援をしていきたい

取組内容4：前年比2%売上増加の事業者数

目標：1者 実績：3者 評価：A

検証結果：持続化補助金活用事業者1者（飲食業）、商談会・物産展出展者2者の売上が増加しています。

補助金を活用して計画している中で、売上計画に基づき事業を実施した結果売上が増加したものと判断します。

商談会・物産展に出展し販路拡大に努めた結果として売上を確保され、新事業との相乗効果があったと見込みます。

今後も、売上増加に向けて販路開拓等の支援をしていきたい

8. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

取組内容1：商談会の出展事業者数

目標：2者 実績：1者 評価：C

検証結果：商談会「北の味覚、再発見！」へ1者が出展しました。

今年度は商談会・物産展へ出展する事業者を掘り起すことができ1者が出展することができました。今後も計画的に事業を進め、出展希望する事業者を更に掘り起し、出展に向けて支援します。

取組内容2：物産展の出展事業者数

目標：1者 実績：2者 評価：A

検証結果：「なまらいいっしょ北海道フェア（東京開催）」に1者、「丸井今井札幌店「北の味覚めぐり」へ1者が出展しました。

今年度は商談会・物産展へ出展する事業者を掘り起すことができ2者が出展しました。今後も計画的に事業を進め、出展希望する事業者を更に掘り起し、出展に向けて支援します。

取組内容3：SNS活用事業者数

目標：2者 実績：1者 評価：C

検証結果：商談会に出展した1者がSNS等のITを活用した集客を図っています。

SNS活用事業者数1者。今後はDX推進について、巡回訪問や窓口相談の際に丁寧に説明して支援します。

SNSを効果的に活用できるよう支援者側が知識を習得してスキルアップを図り支援していきたい

取組内容3：ネットショップの開設者数

目標：2者 実績：1者 評価：C

検証結果：ネットショップ開設者数1者。これまではネットショップ開設を希望する事

業者が少なく支援していなかったが、昨年北海道商工会連合会の協力により開設した1者を成功事例として紹介しながら、今後も継続して支援します。

II、経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

9. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

取組内容1：事業評価委委員会の開催

目標：1回 実績：1回 評価：A

検証結果：本日（令和7年3月25日）開催

前年の意見を踏まえて、今年度の事業について評価・見直しをしていただいたことにより、次年度の目標が明確となり事業実施に向けて方向性が明らかになりました。今年度は昨年度の評価委員会で課題とされた商談会・展示会に出展する事業者を掘り起こすことができ、商談会（1回）、物産展（2回）に参加できました。今後も提言された内容を理事会に諮って事業をスパイラルアップしていきたい

10. 経営指導員等の資質向上等に関すること

取組内容1：外部講習会等の積極的活用

目標：－ 実績：11回 評価：A

検証結果：商工会連合会開催の研修会・中小企業大学校の研修に参加した。他にオンライン開催の研修を受講したことで支援能力の向上に努めた。

中小企業支援、事業承継支援、DX推進の実務講習会など支援に関わるオンライン研修を積極的に受講したことで、知識を習得し、支援能力が向上した。

取組内容2：OJT制度の導入

目標：－ 実績：3回 評価：D

検証結果：OJT制度の導入までは至らないが、通常業務の中でOJTを意識して行動したことにより支援能力の向上を図った。

日々の業務に追われ、OJT制度を導入、チームを組成して組織全体で支援するまでは至らなかった。今後は経営指導員がOJT制度の導入を行い、日々意識しながらチームとして支援できるよう努めます。

取組内容3：職員間の定期ミーティングの開催

目標：－ 実績：12回 評価：A

検証結果：定期的なミーティングは実施していないが、日々意見交換をしながら業務を進めているため情報共有はできているが、徹底されていません。今後はミーティングによる情報共有が図れるよう検討します。

取組内容4：データベース化

目標：－ 実績：あり 評価：A

検証結果：経営支援システム「ShokoBiz」へのデータの入力を適時・適切にデータ入力を行いました。データを入力したことにより組織内で情報を共有することができましたが、一定レベルの対応が可能とならず、データ確認と職員間のコミュニケーションが課題。今後はOJTを含めコミュニケーション能力の向上に努めます。

⑨他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

取組内容1：地域交流会への出席

目標：1回 実績：1回 評価：A

検証結果：年1回の地域交流会（様似町・日高信金・商工会）に参加しました。

地域経済動向について情報交換ができました。また、町の施策等も最新情報を確認することができ支援することができました。今後も引き続き参加して情報交換と情報の共有を図り、最新の地域情報を把握し、提供に努めます。

取組内容2：日高東部商工会広域連携協議会での情報交換

目標：2回 実績：1回 評価：C

検証結果：11月に日本政策金融公庫支店長・担当者を交えて「金融情報交換会」を実施しました。両町の状況と支援事例について情報交換ができたことで、支援ノウハウを蓄積できました。今後は、これらの支援ノウハウを小規模事業者に還元していきたい。

取組内容3：北海道中小企業総合支援センター等の事業承継支援専門家との連携強化

目標：3回 実績：25回 評価：A

検証結果：事業承継等に関する相談を「北海道商工会連合会」「北海道事業承継・引継ぎ支援センター」「中小機構」「中小企業診断士協会」と連携して支援した（25回）事業承継を検討している事業者の考えを傾聴することができたことに加えて、今後の方向性についても支援することができました。今後も継続して専門家と連携して支援していきたい。

Ⅲ、地域経済の活性化に資する取組

⑩地域経済の活性化に資する取組に関すること

取組内容1：様似町地域活性化協議会（仮称）の開催

目標：3回 実績：1回 評価：D

検証結果：令和7年2月25日に事業承継に関する連携支援として、北海道事業承継・引継ぎ支援センター、様似町、日高信用金庫、様似町商工会が連携し会議を開催しました。今後は、事業承継等の支援内容を4者で共有して、定期的に協議会を開催し協議・調整を進めます。

取組内容2：様似町地域ブランド確立のための認定事業

目標：－ 実績：なし 評価：D

検証結果：実績なし。今後、観光協会と情報を共有した上で検討が必要。

31項目に対する自己評価をまとめると、A評価：15項目、B評価：0項目
C評価：6項目、D評価：10項目となり、計画の50%に満たない遂行率であり、
目標達成に向けた業務の効率化と経営指導員の資質向上を求められる結果となりました。

以上、経営指導員が評価シートに基づき説明を行い、事務局長より補足説明として当会会員
事業所も高齢化が進む中で、令和6年度は商談会・物産展に出展して販路開拓を目指す事業
所も掘り起こされたこと、職員の支援体制の現状等について説明しました。

(3) 令和6年度 経営発達支援事業の評価・見直し結果の内容について

・委員会で審議した結果、以下の評価を行いました。

総合評価：概ね適切に実施されているが、各種動向調査が行われていない。

課題点：昨年度までの課題であった「商談会・物産展」の出展支援は実施しているが
経済動向調査や需要動向調査を踏まえた事業となっていない。
各種調査を実施して経済動向や消費者ニーズの把握を強化することが課題。

対応策：次年度計画に反映し、具体的な施策を検討します。

・その他の意見交換では活発な意見が出ていた。

(工藤委員長) 参考資料では25件ほどの専門家派遣を行っているが、相談者が限られて
いるように見受けられるが、説明をお願いしたい。

(河合指導員) 専門家派遣のうちカネオ成栄丸については「北の味覚、再発見！」へ初出展
することから事前支援として道商工連事業を活用して2回の支援を受けて
出展した結果として、オオズワイガニを活用した「カニ飯」を物産展「丸井
今井札幌店北の味覚めぐり」での販売が決まったことから、商談会当日に出
会った貫田シェフへカニ飯のレシピ作成支援を中小企業総合支援センター
の専門家派遣事業を活用して5回の支援を受けたものと、事業承継の相談で
事業承継・引継ぎ支援センターの専門家による支援が6件ほどあり、他にも
「なまらいいっしょ北海道(東京)」に出展した有限会社大橋水産の支援、
6次化を目指す「苺の青山」の専門家派遣事業3回実施しました。
相談者数は10者で回数が25回となりました。

(工藤委員長) 今後も様似町の名前を売るために商談会・物産展等の出展支援を積極的に
お願いします。

② 事業継続力強化支援事業に関する目標と実績、評価見直しについて

(1) 事業継続力強化支援事業について

事業継続力強化支援とは、中小企業・小規模事業者が自然災害や感染症、サイバー攻撃などのリスクに備え、事業の継続・早期復旧を図るための支援制度です。

この支援の中心となるのが、「事業継続力強化計画（BCP：Business Continuity Plan）」の策定支援です。

様似町商工会は、令和3年3月17日（令和2年度認定）の「事業継続力強化支援計画」の認定を受け、令和3年度～令和7年度まで5年の期間で、計画に基づく支援事業がスタートしていることに加えて、令和7年度は更新年度となる旨を説明しました。

(2) 令和6年度 事業継続力強化支援事業の報告

成果目標1：事業継続力強化計画策定

目標：6件 実績：0件 評価：D

検証結果：実施なし

今年度も事業を実施することができませんでした。

今後は事業継続力強化計画策定の必要性を周知するとともに、業務を見直して計画的に事業を進めます。

成果目標2：事業継続力強化計画等の取組状況の確認

目標：6件 実績：0件 評価：D

検証結果：実施なし

今年度も事業を実施することができませんでした。

今後は事業継続力強化計画策定の必要性を周知するとともに、業務を見直して計画的に事業を進めます。

実施目標1：事前対策の必要性を周知（セミナーの開催：目標1回 実績0回）

目標：1回 実績：2回 評価：A

検証結果：事業継続力強化計画の必要性について、年4回発行している商工会ニュースに記事を掲載して周知を図りましたが、セミナーの開催はできませんでした。今後は事業継続力強化計画策定の必要性を周知するとともに、事業継続力強化策定に向けて計画的に事業を進めます。

実施目標2：計画策定に向けた内部協議（勉強会の開催：目標1回 実績0回）

目標：1回 実績：1回 評価：A

検証結果：勉強会は開催できなかったが、計画策定に向けて専門家と協議しました。勉強会の開催時期等についても具体的に検討したいと思います。

実施目標 3：保険・共済普及に向けた体制づくり（勉強会の開催：目標 1 回 実績 0 回）

目標：1 回 実績：1 回 評価：A

検証結果：勉強会は開催できなかったが、ビジネス総合保険加入推進の際に連携体制づくりについて損保会社から提案があり検討をしています。

実施目標 4：連携体制の推進（連携会議の開催：目標 1 回 実績 0 回）

目標：1 回 実績：3 回 評価：A

検証結果：連携会議の開催はできなかったが、中小機構の専門家と連携体制、支援手法について協議・検討しています。

実施目標 5：防災訓練の実施（発災後の連絡手段等の確認：目標 1 回 実績 0 回）

目標：1 回 実績：0 回 評価：D

検証結果：防災訓練は実施できなかった。

（3）令和 6 年度 事業継続力強化支援事業の評価・見直し結果の内容について

・委員会で審議した結果、以下の評価を行いました。

総合評価：事業継続力強化計画策定ができていない。

課題点：支援体制の不足、事業者への働きかけ不足、効果的な支援ツールの不足
事業者にとってメリット（例：補助金加点、信用力向上など）が十分に伝わっていないことが課題。

対応策：商工会として支援の方向性を決めた上で次年度計画に反映し、具体的な施策を検討します。

議長より、指摘された課題を踏まえ次年度の事業に反映することが提案され、了承された。

以上をもって議事を終了し、閉会となりました。時に 15 時 32 分

作成者：河合 尚任（様似町商工会 経営指導員）